

川崎市総合計画の改定に向けた

川崎のこれからを描く「ミライ会議」の参加者募集 及びアンケートを実施します

令和7(2025)年度の「川崎市総合計画」改定に向けて、市民の皆さまの意見をお聴きするため、市民ワークショップ「川崎のこれからを描く『ミライ会議』」を南部、中部、北部エリアで開催いたします。

この「ミライ会議」に活用するため、市民を対象としたアンケートも実施しますので、その概要等をお知らせいたします。

1 「ミライ会議」の参加者等

- 南部(川崎区・幸区)、中部(中原区・高津区・宮前区)、北部(多摩区・麻生区)エリアごとに、無作為抽出を行い、参加を希望された方々、概ね40名程度(3会場で計120名程度)に御参加いただきます。
- 1グループ8名として、5グループ程度で実施します。
- 各会場(※)でワークショップを開催した後、まとめ回として、市長に報告します。
- (※)南部、中部、北部のほかに、川崎市子ども会議でも同様のテーマでワークショップを開催しますが、子ども会議については、別途募集します。

2 「ミライ会議」の日時・場所

○南部エリア

日時: 令和6年11月16日(土)14時00分～17時00分まで (※開場: 13時30分)

場所: 川崎市役所復元棟1階 101会議室

○中部エリア

日時: 令和6年12月14日(土)14時00分～17時00分まで (※開場: 13時30分)

場所: 高津区役所5階第1～3会議室

○北部エリア

日時: 令和7年1月25日(土)14時00分～17時00分まで (※開場: 13時30分)

場所: 麻生区役所4階第2会議室

○まとめ回

日時: 令和7年2月24日(月)14時00分～17時00分まで (※開場: 13時30分)

場所: 川崎市役所本庁舎2階ホール

3 「ミライ会議」の内容

- 5つのテーマごとに、参加者が日ごろの生活実感の中から気になることを出し合い、川崎市の10年後の将来像を出し合う意見交換を行います。

(5つのテーマ)

- ① 「自助・共助・公助」で考える災害に強いまちづくり
- ② 超高齢社会の中で生き生きと暮らせるまちづくり
- ③ 地域全体で支える、安心して子育てできるまちづくり
- ④ 気候変動等を踏まえた環境にやさしいまちづくり
- ⑤ 産業、スポーツ、観光資源、文化・芸術を活かした魅力的なまちづくり

4 アンケートについて

無作為抽出による抽出を行った方々について、『ミライ会議』の開催案内と合わせて、アンケートを郵送いたします(別添資料参照)。

【添付資料】

資料「ミライ会議」の参加者募集&アンケートへのお願い

問合せ先
川崎市総務企画局都市政策部
企画調整課 加島
電話：044-200-2027

川崎のこれからを描く“ミライ会議”の 参加者募集&アンケートのお願い

このお便りは、川崎市にお住まいの方（2024年9月10日時点）から各エリア1,600名を統計的な方法（無作為抽出）で選び、お送りさせていただきました。

川崎市では、「成長と成熟の調和による持続可能なまち かわさき」の実現に向けて、「川崎市総合計画」に基づき、様々な取組を進めています。この度、総合計画の改定に向けて、市民の皆さんの目線で川崎市の将来像や、お住まいの地域の主な取組や現状についての課題などを話し合ってください。ワークショップ「川崎のこれからを描く“ミライ会議”」の参加者を募集します。普段の生活の中で感じていることを、お気軽に発言していただく会ですので、奮ってご参加をお願いします。

日時・会場

*お一人につき、お住まいの区（エリア）の会議に1回のみご参加いただきます。

南部 エリア 川崎区・幸区	2024年11月16日(土) 14:00~17:00 (13:30開場) 川崎市役所 復元棟 1F 101 会議室 (川崎市川崎区宮本町1番地)
中部 エリア 中原区・高津区 宮前区	2024年12月14日(土) 14:00~17:00 (13:30開場) 高津区役所 5F 第1・第2・第3 会議室 (川崎市高津区下作延2丁目8-1)
北部 エリア 多摩区・麻生区	2025年1月25日(土) 14:00~17:00 (13:30開場) 麻生区役所 4F 第2 会議室 (川崎市麻生区万福寺1丁目5-1)

謝礼

ミライ会議ご参加の謝礼として**1,000円分のクオカード**

- 会議の終了後に、会場にて受け取りのサインをいただき、直接お渡しいたします。

募集人数

各エリア 40名程度

- 託児を無料でご利用いただけます。人員の確保のため、ご利用を希望される可能性のある場合は参加希望とともにお知らせください。
参加申込書やオンラインフォーム内の「参加にあたっての配慮事項」の欄にご記入ください。
- 応募された方の中から、年齢、住所等のバランスを考慮したうえで、参加者を決定いたします。
- 当選された方には、メールにて10月中にお知らせする予定です。迷惑メール対策をしている方は、「@city.kawasaki.jp」のドメイン名のメールを受信可能な設定としておいてください。
- なお、応募者多数により抽選を行う場合、当選はメール配信をもって代えさせていただきます。

裏面に続きます

参加資格

以下のすべてを満たす方とさせていただきます。

- この送付物をお送りした封筒のあて名のご本人様*で、同封の「川崎のこれからを描く“ミライ会議”」参加申込書にご回答いただいた方。
(*ご本人様以外の方の申込は無効となりますのでご注意ください。)
- 現在、川崎市在住の方（無作為抽出は 2024 年 9 月 10 日付けにて行いました。この案内の送付時点で既に転居等により川崎市外へ転出された方については、申し訳ありませんが、対象外となりますので、お手数ですがこの案内は廃棄してくださいませよう願います。)
- 川崎市職員ではない方（職員にこの案内が届いた場合は、案内は破棄してください。)
- 下記の「会議の公開について」を承諾いただける方。

参加及びアンケート回答の手続について

参加申込&回答期限 10/24 (木) 必着

右の二次元コードを読み込み、オンラインフォームから参加申込・ご回答をお願いします。アンケートにご回答いただける方も右の二次元コードからご回答ください。オンラインフォームのご利用が難しい場合は、同封の「川崎のこれからを描く“ミライ会議”」参加申込書&アンケートにご記入の上、同封の返信用封筒（切手不要）によりご返送ください。



お申込み・ご回答は
こちら

ご参加
いただける
場合

- ①参加申し込みにあたっての所定の事項（お名前、ご住所、連絡先、関心のあるテーマ）へのご記入をお願いします
- ②アンケートへのご回答をお願いします

ご参加いただけない場合も
アンケートにご協力をお願いします

話し合いのテーマ（予定）

- ①「自助・共助・公助」で考える災害に強いまちづくり
- ② 超高齢社会の中で生き生きと暮らせるまちづくり
- ③ 地域全体で支える、安心して子育てできるまちづくり
- ④ 気候変動等を踏まえた環境にやさしいまちづくり
- ⑤ 産業、スポーツ、観光資源、文化・芸術を活かした魅力的なまちづくり



まとめ回の開催について（予定）

- ミライ会議の実施後、各エリアでご参加いただいた方の中から希望者を募り、全市的なまとめの成果を、2月下旬に市長にプレゼンしていただく機会を予定しています。詳細については別途ご案内します。

会議の公開について

- 会議は公開にて行います。報道機関による撮影が会場に入ることがあります。
- 会議の様子を、参加者個人が特定可能な形で公表する場合があります。（会議の様子を動画や写真・音声データ等で記録し、そのデータや内容をウェブサイトや報告書、パンフレット等で公表することがあります。）

問合せ

川崎市 総務企画局 都市政策部 企画調整課 担当：橋本・小関 電話 044-200-2027

設問	そう思う	どちらとも いえない	そう思わない
回答例	○		
魅力的なまちづくり	15. 親しみやすい公園や広場が整備されている		
	16. ものづくりなどの産業活動が盛んであり 先端企業・研究開発機関が集積している		
	17. 交通の利便性が高い		
	18. 観光資源に恵まれ地域のイメージが良い		
	19. スポーツ、芸術、若者文化に触れる機会が 充実している		
20. 多様性にあふれ、尊重されている			
21. その他 []			

■ 川崎市のまちづくりに関する本市へのご意見がありましたらお聞かせください。(自由記載)

質問は以上となります。ご協力いただき、大変ありがとうございました。
こちらの用紙に回答された方は、同封の返信用封筒に入れ、
郵便ポストに投函してください。**2024年10月24日(木) 消印有効**

【お問い合わせ先】

川崎市 総務企画局 都市政策部 企画調整課
電話 044-200-2027 (土・日・祝を除く 8:30 ~ 12:00、13:00 ~ 17:15)
FAX 044-200-0401

川崎市総合計画の改定に向けた

川崎のこれからを描く“ミライ会議”

**参加申込書
& アンケート**

このアンケートについてとりまとめた結果は、「川崎のこれからを描く“ミライ会議”」として実施するワークショップの参考資料として活用させていただきます。ミライ会議の目的や開催場所、日程等については、お手数ですが同封の案内をご覧ください。**ミライ会議の参加の可否に関わらず、アンケートのご協力につきまして、どうぞよろしくお願いたします。**

回答は **2024年10月24日(木)まで** に、下記のどちらかの方法でお願いいたします。

- ① 記載の二次元コードを読み込み、オンラインフォームから回答する
- ② この用紙にご記入いただき、同封の返信用封筒に入れて返送する(切手不要)

突然のお願いで大変恐れ入りますが、趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

オンラインフォーム
回答用二次元コード



- ※ あて名のご本人様をご回答ください。
- ※ ご回答いただいた内容は、この会議の運営や総合計画の改定に向けた検討資料の目的以外には利用いたしません。
- ※ ご回答いただく上で、ご不明点やご質問がありましたら、このアンケートの最後に記載しているお問い合わせ先にご連絡ください。

■ ミライ会議の参加の意向について、お聞きます。 ・詳細は同封の案内をご覧ください
・お住まいの区(エリア)の会議にご参加下さい

「ミライ会議」への参加意向(どちらかに○をつけてください) 参加 ・ 不参加

この欄は、ミライ会議に参加される方のみご記入ください(今後の連絡のため、必ずご記入ください)

ふりがな 氏名	連絡先 携帯電話(無い方は固定電話)
住所 〒	Eメールアドレス

関心のあるテーマ ※ミライ会議当日のグループ分けの参考に、下記の①~⑤の中から3つまで選び番号をご記入ください。

1 番関心がある [] 2 番目に関心がある [] 3 番目に関心がある []

- ① 「自助・共助・公助」で考える災害に強いまちづくり
- ② 超高齢社会の中で生き生きと暮らせるまちづくり
- ③ 地域全体で支える、安心して子育てできるまちづくり
- ④ 気候変動等を踏まえた環境にやさしいまちづくり
- ⑤ 産業、スポーツ、観光資源、文化・芸術を活かした魅力的なまちづくり

参加にあたっての配慮事項 ※会場での託児サービス(無料)の利用をご希望の方は、その旨と併せてお子様の人数、性別、年齢をお書きください。

中面に続く設問は、ミライ会議の参加・不参加に関わらず、みなさまご記入ください

■ あなた自身について、お聞きます。(あてはまるもの1つに ○ をつけてください。)

性別	男性 / 女性 / その他 () / 回答しない
年代	10代 / 20代 / 30代 / 40代 / 50代 / 60代 / 70代以上
居住区	川崎区 / 幸区 / 中原区 / 高津区 / 宮前区 / 多摩区 / 麻生区

■ 川崎市のまちについてお聞きます。

川崎市では、「成長と成熟の調和による持続可能なまち かわさき」の実現に向けて、「川崎市総合計画」に基づき、様々な取組を進めています。

本年 7 月には市制 100 周年を迎えましたが、次の 100 年に向けて今後も持続的な発展を続けるためには、社会経済環境の変化に迅速かつ確に対応しながら、将来を見据えた課題解決にしっかりと取り組んでいく必要があります。

この度、令和 7 (2025) 年度の「川崎市総合計画」改定に向けて、市民の皆さまの意見をお聴きするため、市民ワークショップ「川崎のこれからを描く“ミライ会議”」を開催いたします。この市民ワークショップに活用する資料とするため、次のアンケートにご協力ください。

問1 あなたは、川崎市全体のまちのイメージについてどう思いますか？

あてはまるものを 1つ 選び○をつけてください。

- ① 良い ② まあまあ良い ③ どちらともいえない ④ あまり良くない ⑤ 悪い

問2 あなたは、これからの 10 年で、川崎市がどのような方向性・都市像を目指すべきと考えますか。

次に示す方向性について、優先度の高いと思うものを選んでください。

あてはまるものを 3つ まで選び○をつけてください。

- ① 防災、防犯など安全・安心な暮らしのできる都市
- ② 子育てがしやすく、子どもが健やかに成長できる都市
- ③ 社会的に支援が必要な人（高齢者・障害者等）を支え合う都市
- ④ 自然に親しめる公園・緑地・水辺などが豊富な都市
- ⑤ 都市基盤や交通体系の維持・向上が図られた都市
- ⑥ 脱炭素化や省エネルギー、資源循環など環境配慮の取組が進んだ都市
- ⑦ 企業活動による経済的活力にあふれ、国際的に競争力のある都市
- ⑧ 文化、スポーツ、観光資源などの魅力にあふれた都市
- ⑨ 市民の参加や協働が進むとともに、多様性が尊重された都市
- ⑩ 行財政改革を進め、持続可能で健全な財政基盤を構築していく都市
- ⑪ その他 ()

問3 あなたは、川崎市の魅力がどのようなところであると思いますか。それぞれの項目ごとにお答えください。あてはまるものを 1つ ずつ選び○をつけてください。

設問		そう思う	どちらともいえない	そう思わない
回答例		○		
防災	1. 事故や犯罪が少なく安全・安心である			
	2. 消防・防災体制が充実している			
	3. 発災時の備え（ハザードマップ、避難所等のほか、家族間の決めごと等）についての周知が進んでいる			
超高齢社会	4. 高齢者にとって暮らしやすいまちである			
	5. 健康維持に向けた取組が充実している			
	6. 医療機関・救急体制が充実している			
	7. 生涯学習や市民活動、地域コミュニティ等への参加の機会が充実している			
子ども・子育て	8. 子どもにとって暮らしやすいまちである			
	9. 子どもの教育環境が充実している			
	10. 子育てしやすいまちである			
環境	11. 図書館やミュージアム等の教育・文化関係施設が充実している			
	12. 脱炭素化の取組に積極的である			
	13. ごみ収集や資源のリサイクル制度が充実している			
	14. 豊かな自然環境（緑地、河川等）に恵まれている			